



サステナビリティ指数の概要

**S&P Dow Jones
Indices**

A Division of **S&P Global**

S&P Dow Jones Indices

2023年12月13日（水）

S&P DJI サステナビリティ 株価指数



S&P DJI ESG指数ファミリー：多様なESG指数ソリューション

指数カテゴリー 説明 例

ESG Screened	ESG基準に基づいて銘柄を除外した指数	– S&P Sustainability Screened Indices	– S&P 500 Sustainability Screened Index
ESGスコア	広範な市場を対象としたベスト・イン・クラスのアプローチを採用し、ESGパフォーマンスをターゲットとする	– S&P ESG Indices – S&P ESG Leaders – S&P ESG Elite Indices	– Dow Jones Sustainability Index (DJSI) Series – S&P ESG Tilted Indices – S&P Sustainable Sectors
気候変動	気候変動、及び低炭素経済への移行に対応するように設計された指数	– S&P Global 1200 Fossil Fuel Free Indices – S&P Global Carbon Efficient	– S&P Paris-Aligned and Climate Transition Indices – S&P Carbon Budget Indices
テーマ型ESG	ESGに関連する特定の問題に着目した指数であり、目標を絞り込んでいる場合が多い	– S&P Global Clean Energy Index – S&P Global Water Indices	– Dow Jones Green REIT Indices
債券ESG	グリーン・ボンド市場へのアクセスを提供する指数	– S&P Green Bond/S&P Green Bond Select Indices – S&P U.S. Municipal Green Bond Index	– S&P 500 Bond Investment Grade Carbon Efficient Index

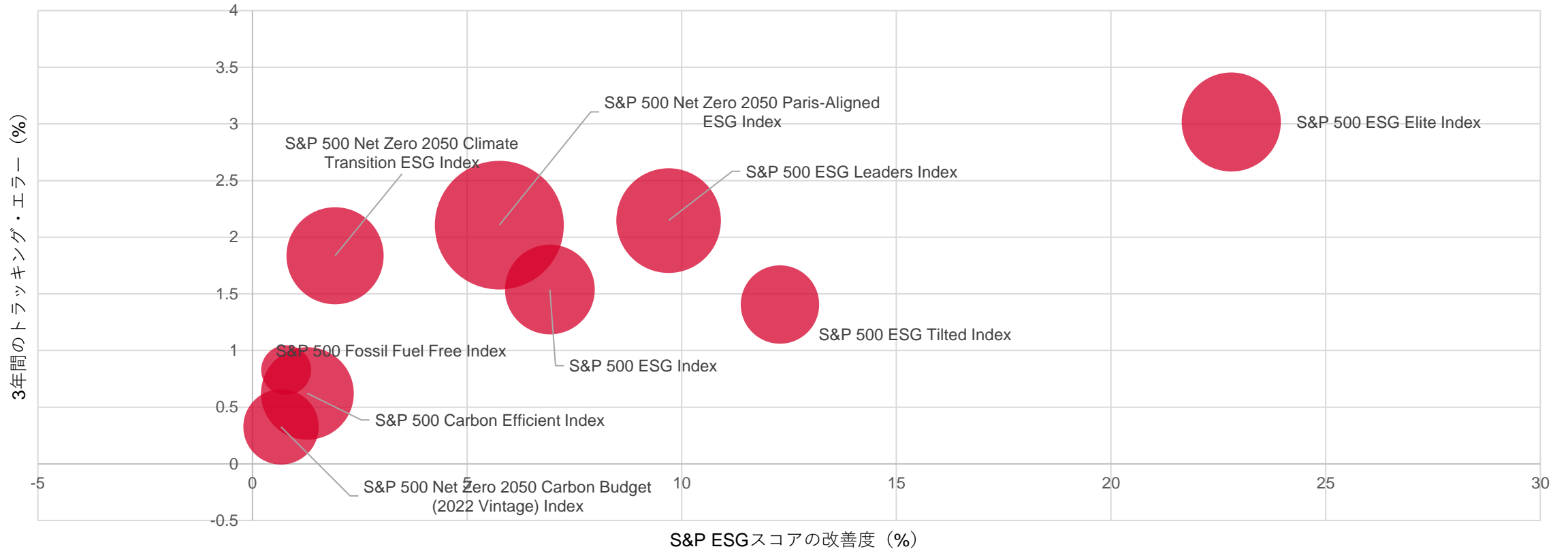
spglobal.com/spdji/en/index-family/esg/

S&P Dow Jones
Indices

A Division of S&P Global

原則に沿った投資ソリューション

S&P DJI ESGスコアの改善度と3年間のトラッキング・エラーの関係



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2023年6月30日現在のデータ。円の大きさは炭素強度の削減量を示しています。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。S&P 500 ESG指数の算出開始日は2019年1月28日、S&P 500 ESGリーダーズ指数の算出開始日は2022年2月7日、S&P 500 ESGエリート指数の算出開始日は2020年12月21日、S&P 500化石燃料フリー指数の算出開始日は2015年8月28日、S&P 500カーボン・エフィシエント指数の算出開始日は2018年10月22日、S&P 500ネット・ゼロ2050気候変動ESG指数の算出開始日は2020年6月1日、S&P 500ネット・ゼロ2050パリ協定準拠ESG指数の算出開始日は2020年6月1日、S&P 500ネット・ゼロ2050カーボンバジェット（2022年ヴァンテージ）指数の算出開始日は2022年7月25日です。指数算出開始日前の全ての情報は、指数算出開始日時点で有効なメソドロジーに基づいてバックテストされたパフォーマンスであり、実際のパフォーマンスではありません。

**S&P Dow Jones
Indices**

A Division of **S&P Global**

S&P DJI ESG指数



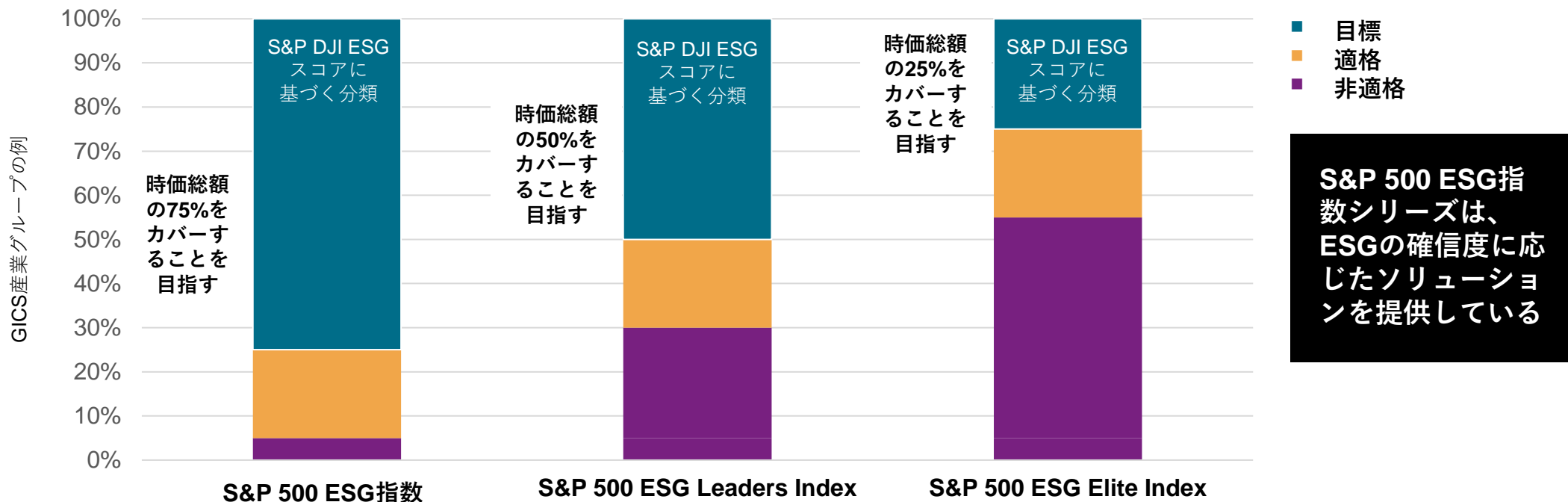
ESG指数の進化：サステナビリティ指数のパイオニア

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはサステナビリティ指数のパイオニアであり、市場リーダーとしての地位を維持している。当社は厳格な企業分析、透明な指数メソドロジー、及び最新のモデルなどを通じて最先端の指数を算出しており、これらの指数はESGベンチマークやESG投資などの幅広い分野で活用されている。

除外	統合	高い確信度
環境や社会に悪影響を及ぼす事業活動に関与している企業を除外する	幅広いセクターをカバーする時価総額加重指数であり、サステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定するように設計されている	ベスト・イン・クラスのESG指数であり、厳格なサステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定するように設計されている
例：S&P Sustainability Screened Indices	例：S&P ESG指数シリーズ	例：S&P ESG Elite Index Series

S&P ESG指数シリーズの比較

S&P 500® ESG指数シリーズはベスト・イン・クラスのESG指数ファミリーであり、平均以上のESG特性を有する証券のパフォーマンスを測定するように設計されている。また、環境や社会に悪影響を及ぼす事業活動に関与している企業を除外するとともに、S&P 500の各産業グループと同様のウェイトを維持するように設計されている。



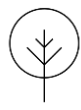
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。図表は説明目的のために提示されています。

S&P ESG指数シリーズの比較

特定の事業活動に関与している企業を除外	S&P 500 ESG指数	S&P 500 ESG Leaders Index	S&P 500 ESG Elite Index
タバコ	✓	✓	✓
化石燃料	燃料炭とオイルサンドのみ	✓	✓
非人道的兵器	✓	✓	✓
小型武器	✓	✓	✓
軍需品供給契約	✓	✓	✓
賭博		✓	✓
アルコール		✓	✓
原子力発電		✓	✓
遺伝子組み換え作物 (GMO)			✓
パーム油			✓
略奪的融資			✓
アダルト・エンターテインメント			✓
GICS産業グループ内でS&P DJI ESGスコアが 下位X%の企業	25%	25%	50%
国連グローバル・コンパクト (UNGC) の遵守状況	✓	✓	✓
GICS産業グループまたはGICSセクター内で、 S&P DJI ESGスコアに基づいて分類	GICS産業グループ	GICS産業グループ	GICSセクター
S&P DJI ESGスコアの高い企業を選択	各産業グループ内で時価総額の75%をカバー	各産業グループ内で時価総額の50%をカバー	各産業グループ内で時価総額の25%をカバー
指数のウェイト付け	浮動株調整後時価総額加重	浮動株調整後時価総額加重	浮動株調整後時価総額加重

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 ESG指数：インパクトの測定



環境

+19%

環境報告に関して外部機関による認証を受けた企業へのエクスポージャー



社会

+12%

国連が提唱する「ビジネスと人権に関する指導原則」、またはその他の国際基準に基づき、人権尊重に関する方針を定めている企業へのエクスポージャー



ガバナンス

+14%

反競争的行為に関与しておらず、汚職防止方針を公表し、現時点で汚職・贈収賄事件に関与しておらず、過去4年間で汚職・贈収賄事件に関与したことがない企業へのエクスポージャー

+12%

気候変動問題を全体的なリスク管理（リスクと機会）の枠組みに統合し、温室効果ガス排出量削減の目標や取り組みに関する報告を行っている企業へのエクスポージャー

+12%

プライバシー保護問題や、個人情報の収集、使用、保持、処理に関する方法（オプトインの同意、データへのアクセス、データの転送と削除、及びデータ保持期間など）について顧客に通知している企業へのエクスポージャー

+14%

情報技術（IT）システムの障害を防ぐ対策を講じ、情報セキュリティに関する方針と手順を策定し、過去3年間に於いて情報セキュリティ・リスクの管理を徹底してきた企業へのエクスポージャー

+10%

スコープ1及びスコープ2排出量（二酸化炭素換算排出量）、水の消費、廃棄物処理、及びエネルギー消費などに関するデータを公表している企業へのエクスポージャー

+11%

人権尊重に関する方針を定めている企業へのエクスポージャー

+13%

強固なリスク管理文化を醸成・促進し、事業に大きな影響を及ぼす長期的リスクを見極め、リスク緩和策を講じ、気候変動リスクや水の利用可能性に関する感応度分析を行っている企業へのエクスポージャー

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。上図は、S&P 500 ESG指数のESGパフォーマンスが優れていることを示す具体例です。各ESGテーマに対する指数エクスポージャーの増加分は、S&P グローバルが毎年行うコーポレート・サステナビリティ評価（CSA）（2022年メソッドロジー）における質問レベルのデータを使用して計算されています。これらの測定基準は、2023年5月31日現在の指数データを使用し、これらの測定基準全体にわたるS&P 500 ESG指数とS&P 500の構成銘柄のパフォーマンスのパーセント格差として加重平均ベースで計算されています。

主な指標：ESG指数シリーズ

	S&P 500	S&P 500 ESG指数	S&P 500 ESG Leaders Index	S&P 500 ESG Elite Index
リバランスの頻度	毎四半期	毎年 ²	毎年 ²	毎年 ²
指数算出開始日	1957年3月4日	2019年1月28日	2022年7月2日	2020年12月21日
初回評価日	1928年1月3日	2005年4月29日	2010年4月30日	2010年4月30日
年率リターン（トータル・リターン）				
1年	19.59	20.99	24.04	20.38
3年	14.60	15.99	16.49	14.52
5年	12.31	13.96	14.61	12.63
10年	12.86	13.52	13.51	13.24
構成銘柄数	503	321	210	93
ESGスコアの改善度（%）	--	6.93 (21.89%)	9.69 (30.61%)	22.8 (72%)
投資額に対する二酸化炭素排出量の割合 ¹	55.66	40.45	38.78	29.27
トラッキング・エラー（3年）*	--	1.54	2.15	3.02

ESGスコアは、2023年6月30日現在のデータを使用して計算されています。「ESGスコアの改善度（%）」は、ESGスコアが最も高い企業1社だけに投資した場合に得られる可能性のある指数の最大のESGスコア改善度に対する、S&P ESG指数とベンチマークのESGスコアのパーセント格差として計算されています。

¹ 投資額に対する二酸化炭素排出量の割合（二酸化炭素換算トン/投資額100万ドル）*

* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量。詳細については、www.spglobal.com/spdji/en/esg-metricsを参照ください。

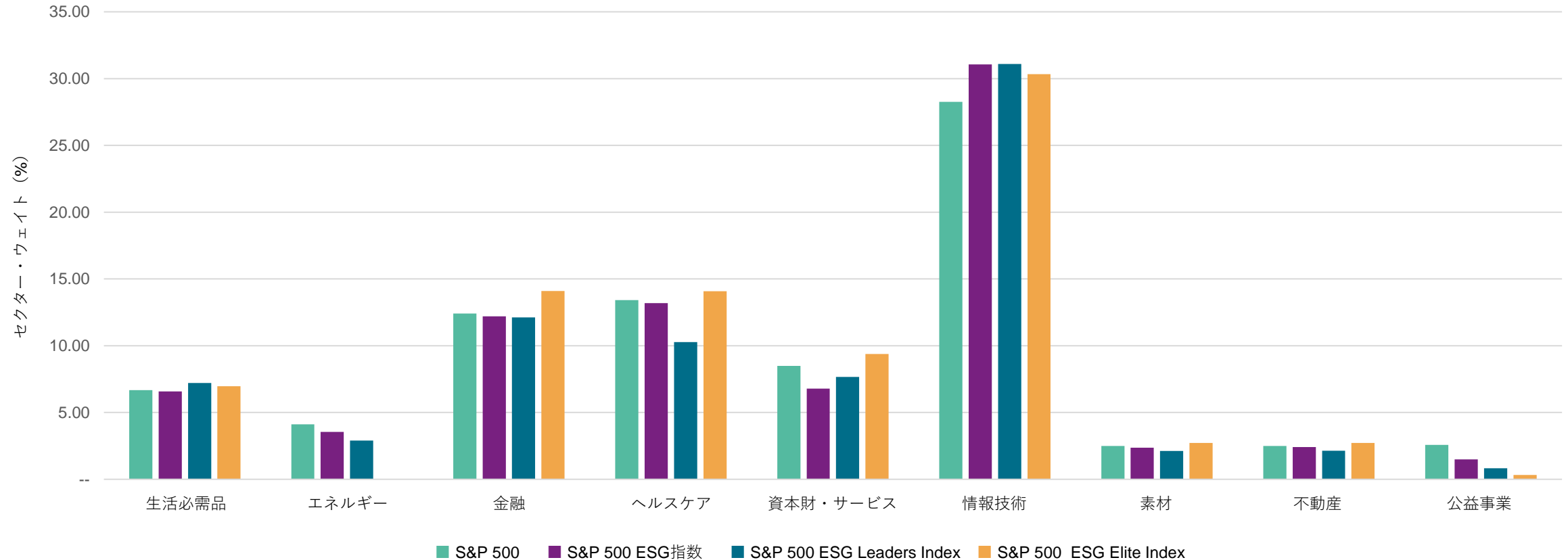
** 2023年6月30日現在のトラッキング・エラー

² 適格性に関する四半期レビュー：指数構成銘柄を四半期ごとにレビューします。各構成銘柄の事業活動の内容や国連グローバル・コンパクト（UNGC）の遵守状況などをチェックし、指数の採用条件を満たしているかどうかを判断します。

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2023年6月30日現在のデータ。全てのリターンは米ドル建てのトータル・リターンです。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

各セクターへのアクティブ・エクスポージャー

銘柄の除外によって生じるセクター・エクスポージャーの違い



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2023年6月30日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。

S&P DJI

What's Next?



持続可能な開発目標（SDG） – SDGs Indicesのコンセプト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出所：国際連合（UN）

SDGsへの整合性を精査することにより、投資先企業の事業活動や製品・サービスに関連する実社会へのプラスまたはマイナスの影響を見極めることができる

目標：この指数は、活動や事業を通じて17の全てのSDGsに対して高い整合性を示している企業への幅広いエクスポージャーを提供することを目的としている



親指数と比べて、SDGsに整合的な売上高を**2倍**にする

親指数と比べて、SDGsに整合的でない売上高を**半分**にする

重要業績評価指標（KPI）に基づくスコアを使用し、企業のSDGsへの整合性を**高める**

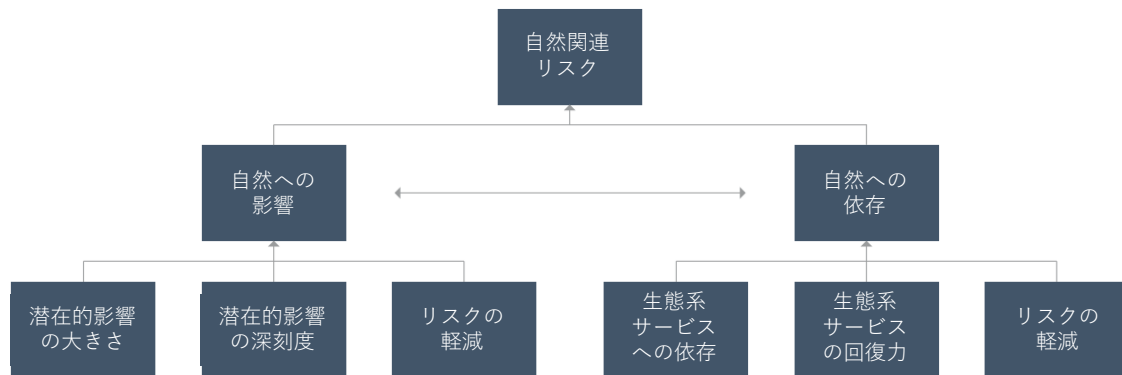
自然リスク及び**生物多様性** – 指数のコンセプト



資産レベルの詳細なデータ：S&P グローバル及びその他の第三者のデータセットに基づいて企業の所有者にマッピングした**160万**以上の**資産**に関するデータを活用

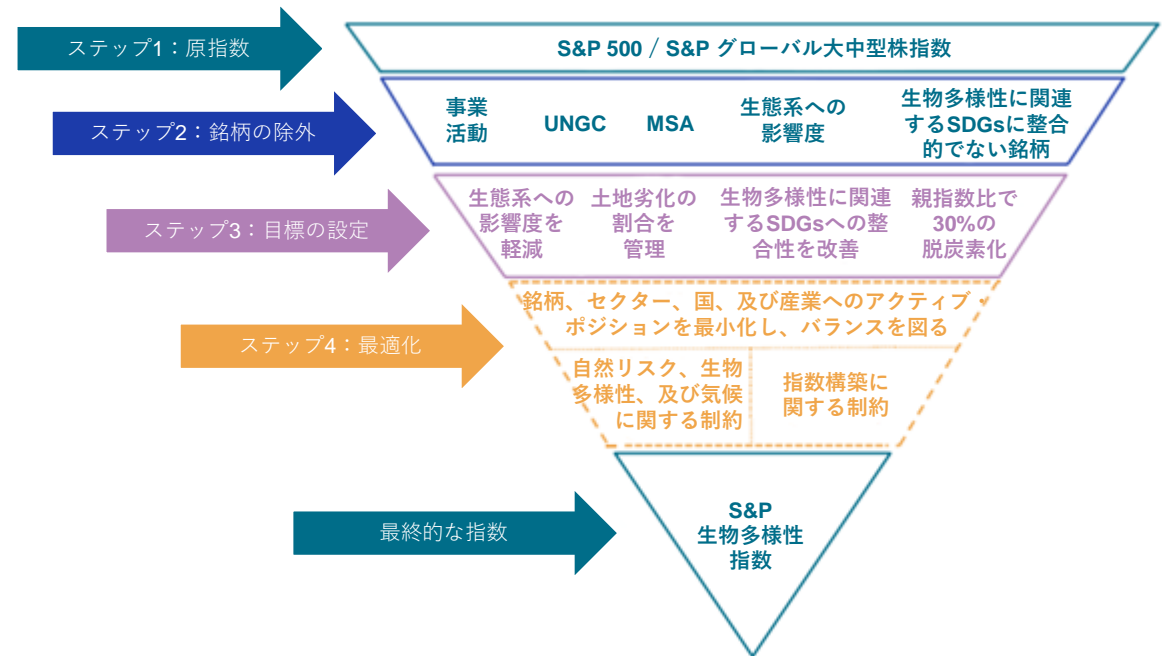
ユニバースを広範にカバー：**17,000社**以上の**上場・非上場企業**に関するインパクト指標及び依存度指標

データの可視化：デスクトップ対応のソリューションで、マップと結果の可視化ツールを使用し、自然リスクへのエクスポージャーを把握



出所：国連環境計画（2023年）、自然リスク・プロファイル：自然への影響と自然への依存度を分析するための方法論。ケンブリッジ、英国。

S&P Biodiversity Indicesは、生態系への影響を軽減すると同時に、土地劣化の割合を管理する企業を選択し、ウェイト付けすることを目標としている



追加リソース

S&P 500 ESG指数 (指数ページには、指数のパフォーマンス、メソドロジー、及びファクトシートが掲載されている)

記事

S&P 500 ESG指数：サステナブル・コアの定義

S&P Dow Jones Indices
A Division of S&P Global

Index Education

S&P 500® ESG指数：サステナブル・コアの定義

はじめに

サステナブル投資が拡大する中で、当社は2019年1月にS&P 500 ESG指数の算出を開始しました。環境、社会、及びガバナンス (ESG) データに基づく指数は、企業が持続可能性に積極的に取り組んでいることを示すための単なる手段ではなく、投資家のポートフォリオにおいて小さな役割しか果たさない戦略的な投資を管理するためのツールでもありません。S&P 500 ESG指数及びその他のサステナビリティ指数は、戦略的かつ長期的な主要投資商品の基礎となるように構築されています。

ここ数十年にわたり、様々な利害関係者や目標を考慮しながら事業運営を行っている企業は、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスのようなESG指数に採用されてきました。しかし、世界的に有名なESG指数の採用基準は非常に厳しかったため、ESG評価が最も高い一握りの企業しかESG指数に採用されていないのが現状です。したがって、これらの指数では構成銘柄が偏る傾向があり、個人投資家や機関投資家はそれに伴うリスクを懸念しています。

S&P 500 ESG指数では、構成銘柄の選択基準にESG要因を組み込むと同時に、ベンチマークと同等のパフォーマンスを提供することを目標としています。S&P 500 ESG指数は、S&P 500構成銘柄の中の300社以上を採用しているため、S&P 500が持つ多くの特徴を反映する一方で、S&P 500より優れたサステナビリティ特性を示しています。

最新のリサーチ、教育、及びコメントの受信をご希望の方は、on.spdji.com/SignUpに登録ください。

パンフレット

S&P 500 ESG指数

S&P Dow Jones Indices
A Division of S&P Global

S&P ESG Index Series

S&P 500® ESG 指数

ESG 要因をコア指数に統合する

S&P 500 ESG 指数は、ESG 評価の高い銘柄を組み入れる一方で、S&P 500 と同様のリスク・リターン特性を維持するように設計されています。

この指数では、S&P DJI ESG スコアに基づいて企業をランク付けし、ランクの高い企業を指数に組み入れる一方で、ESG 基準に一致しない企業を除外します。S&P 500 内における世界産業分類基準 (GICS®) の各産業グループの時価総額の 75% をカバーすることを目標としています。

S&P DJI ESG スコアは当社独自のものであり、各産業内で最も財務的に重要かつ関連のある ESG 要因に注目して算出されます。このスコアは S&P DJI が管理しており、S&P グローバルが算出しています。

ベンチマークに対して各セクターが開示した ESG 潜在力

セクター	ESG 潜在力 (%)
S&P 500 ESG 総合スコア	32%
S&P 500 ESG ヘルスケア	29%
S&P 500 ESG エネルギー	27%
S&P 500 ESG 金融	26%
S&P 500 ESG 消費財	23%
S&P 500 ESG 製造業	21%
S&P 500 ESG 情報技術	19%
S&P 500 ESG 生活消費財	14%
S&P 500 ESG 不動産	11%
S&P 500 ESG 通信	7%
S&P 500 ESG 運輸	7%

ESG スコアの改善度

	S&P 500	S&P 500 ESG 指数
ESG スコアの改善度 (%)	---	8.90
削減された ESG 露出 (%)	---	20.90

Data as of Sept. 30, 2020.

指数レベルの ESG スコアは、構成銘柄の S&P DJI ESG スコアの加重平均として算出されます。ESG スコアの改善度は、ベンチマークに対する指数レベルの ESG スコアの改善率を示しています。削減された ESG 露出は、ESG の改善を効率的に促進したことを示しています。露出は、ベンチマークの中で ESG スコアが最も高い企業により決定されます。

S&P 500 ESG 指数とベンチマークのパフォーマンス比較

	S&P 500	S&P 500 ESG 指数
構成銘柄数	505	296
5 年間の累積リターン (トータル・リターン)	15.22%	15.94%
5 年間の標準偏差	15.26%	15.3%
5 年間のトラッキングエラー	---	1.06%

Data as of Dec. 31, 2020.

出典: S&P Dow Jones Indices LLC.
指数は毎月更新され、データは 2020 年 9 月 30 日時点のものです。S&P 500 ESG 指数は 2019 年 1 月 28 日に開始されました。算出開始日以前のデータの提供は保証されず、パフォーマンスはパフォーマンスであり、実際のパフォーマンスとは異なる場合があります。新しい情報については迅速な更新を確保し、過去のパフォーマンスは将来の結果を予測するものではありません。投資家は投資決定に役立てるべきではありません。指数及びベンチマーク・インデックスの ESG スコアの改善度は、指数 / セクター内で最も ESG スコアが高い一握りの企業にのみ適用され、その他の企業には適用されません。セクターの ESG 潜在力は、S&P 500 ESG 指数、S&P 500 の各産業 / セクターの ESG スコアのパーセントiles として計算されています。

Indexology® ブログ(日本語)

Indexology® Blog

S&P Dow Jones Indices
A Division of S&P Global

S&P 500 ESG 指数のリバランスについて

Margaret Dorn
シニア・ディレクター、ESG 指数部門のヘッド、北米
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

Indexology® ブログ(英語)

An ESG Solution for Varying Objectives: S&P 500 ESG-Based Indices

When it comes to ESG indices, different objectives require different solutions. Indices can range from simple to sophisticated, concentrated to benchmark-like, broad environmental, social and governance to climate-focused, and more. Our growing suite of ESG indices aims to serve a wide range of ESG needs and support the alignment of investments with ESG principles. When...

READ >

パフォーマンス・レポート – 毎月アップデート 気候及びESG指数ダッシュボード

General Disclaimer

© 2023 S&P Dow Jones Indices. All rights reserved. S&P, S&P 500, SPX, SPY, The 500, US500, US 30, S&P 100, S&P COMPOSITE 1500, S&P 400, S&P MIDCAP 400, S&P 600, S&P SMALLCAP 600, S&P GIVI, GLOBAL TITANS, DIVIDEND ARISTOCRATS, Select Sector, S&P MAESTRO, S&P PRISM, S&P STRIDE, GICS, SPIVA, SPDR, INDEXOLOGY, iTraxx, iBoxx, ABX, ADBI, CDX, CMBX, MBX, MCDX, PRIMEX, HHPI and SOVX are trademarks of S&P Global, Inc. (“S&P Global”) or its affiliates. DOW JONES, DJIA, THE DOW and DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE are trademarks of Dow Jones Trademark Holdings LLC (“Dow Jones”). These trademarks together with others have been licensed to S&P Dow Jones Indices LLC. Redistribution or reproduction in whole or in part are prohibited without written permission of S&P Dow Jones Indices LLC. This document does not constitute an offer of services in jurisdictions where S&P Dow Jones Indices LLC, S&P Global, Dow Jones or their respective affiliates (collectively “S&P Dow Jones Indices”) do not have the necessary licenses. Except for certain custom index calculation services, all information provided by S&P Dow Jones Indices is impersonal and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. S&P Dow Jones Indices receives compensation in connection with licensing its indices to third parties and providing custom calculation services. Past performance of an index is not an indication or guarantee of future results.

It is not possible to invest directly in an index. Exposure to an asset class represented by an index may be available through investable instruments based on that index. S&P Dow Jones Indices does not sponsor, endorse, sell, promote or manage any investment fund or other investment vehicle that is offered by third parties and that seeks to provide an investment return based on the performance of any index. S&P Dow Jones Indices makes no assurance that investment products based on the index will accurately track index performance or provide positive investment returns. S&P Dow Jones Indices LLC is not an investment advisor, and S&P Dow Jones Indices makes no representation regarding the advisability of investing in any such investment fund or other investment vehicle. A decision to invest in any such investment fund or other investment vehicle should not be made in reliance on any of the statements set forth in this document. S&P Dow Jones Indices is not an investment adviser, commodity trading advisor, commodity pool operator, broker dealer, fiduciary, promoter” (as defined in the Investment Company Act of 1940, as amended), “expert” as enumerated within 15 U.S.C. § 77k(a) or tax advisor. Inclusion of a security, commodity, crypto currency or other asset within an index is not a recommendation by S&P Dow Jones Indices to buy, sell, or hold such security, commodity, crypto currency or other asset, nor is it considered to be investment advice or commodity trading advice.

These materials have been prepared solely for informational purposes based upon information generally available to the public and from sources believed to be reliable. No content contained in these materials (including index data, ratings, credit-related analyses and data, research, valuations, model, software or other application or output therefrom) or any part thereof (“Content”) may be modified, reverse-engineered, reproduced or distributed in any form or by any means, or stored in a database or retrieval system, without the prior written permission of S&P Dow Jones Indices. The Content shall not be used for any unlawful or unauthorized purposes. S&P Dow Jones Indices and its third-party data providers and licensors (collectively “S&P Dow Jones Indices Parties”) do not guarantee the accuracy, completeness, timeliness or availability of the Content. S&P Dow Jones Indices Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Content. THE CONTENT IS PROVIDED ON AN “AS IS” BASIS. S&P DOW JONES INDICES PARTIES DISCLAIM ANY AND ALL EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, FREEDOM FROM BUGS, SOFTWARE ERRORS OR DEFECTS, THAT THE CONTENT’S FUNCTIONING WILL BE UNINTERRUPTED OR THAT THE CONTENT WILL OPERATE WITH ANY SOFTWARE OR HARDWARE CONFIGURATION. In no event shall S&P Dow Jones Indices Parties be liable to any party for any direct, indirect, incidental, exemplary, compensatory, punitive, special or consequential damages, costs, expenses, legal fees, or losses (including, without limitation, lost income or lost profits and opportunity costs) in connection with any use of the Content even if advised of the possibility of such damages.

S&P Global keeps certain activities of its various divisions and business units separate from each other in order to preserve the independence and objectivity of their respective activities. As a result, certain divisions and business units of S&P Global may have information that is not available to other business units. S&P Global has established policies and procedures to maintain the confidentiality of certain non-public information received in connection with each analytical process.

In addition, S&P Dow Jones Indices provides a wide range of services to, or relating to, many organizations, including issuers of securities, investment advisers, broker-dealers, investment banks, other financial institutions and financial intermediaries, and accordingly may receive fees or other economic benefits from those organizations, including organizations whose securities or services they may recommend, rate, include in model portfolios, evaluate or otherwise address..

Performance Disclosure/Back-Tested Data

The S&P 500 ESG Index was launched Jan 28, 2019. All information presented prior to an index's Launch Date is hypothetical (back-tested), not actual performance, and is based on the index methodology in effect on the index launch date. However, when creating back-tested history for periods of market anomalies or other periods that do not reflect the general current market environment, index methodology rules may be relaxed to capture a large enough universe of securities to simulate the target market the index is designed to measure or strategy the index is designed to capture. For example, market capitalization and liquidity thresholds may be reduced. In addition, forks have not been factored into the back-test data with respect to the S&P Cryptocurrency Indices. For the S&P Cryptocurrency Top 5 & 10 Equal Weight Indices, the custody element of the methodology was not considered; the back-test history is based on the index constituents that meet the custody element as of the Launch Date. Complete index methodology details are available at spglobal.com/spdji. Back-tested performance reflects application of an index methodology and selection of index constituents with the benefit of hindsight and knowledge of factors that may have positively affected its performance, cannot account for all financial risk that may affect results and may be considered to reflect survivor/look ahead bias. Actual returns may differ significantly from, and be lower than, back-tested returns. Past performance is not an indication or guarantee of future results.

Please refer to the methodology for the Index for more details about the index, including the manner in which it is rebalanced, the timing of such rebalancing, criteria for additions and deletions, as well as all index calculations. Back-tested performance is for use with institutions only; not for use with retail investors.

S&P Dow Jones Indices defines various dates to assist our clients in providing transparency. The First Value Date is the first day for which there is a calculated value (either live or back-tested) for a given index. The Base Date is the date at which the index is set to a fixed value for calculation purposes. The Launch Date designates the date when the values of an index are first considered live: index values provided for any date or time period prior to the index's Launch Date are considered back-tested. S&P Dow Jones Indices defines the Launch Date as the date by which the values of an index are known to have been released to the public, for example via the company's public website or its data feed to external parties. For Dow Jones-branded indices introduced prior to May 31, 2013, the Launch Date (which prior to May 31, 2013, was termed "Date of introduction") is set at a date upon which no further changes were permitted to be made to the index methodology, but that may have been prior to the Index's public release date.

Typically, when S&P DJI creates back-tested index data, S&P DJI uses actual historical constituent-level data (e.g., historical price, market capitalization, and corporate action data) in its calculations. As ESG investing is still in early stages of development, certain datapoints used to calculate S&P DJI's ESG indices may not be available for the entire desired period of back-tested history. The same data availability issue could be true for other indices as well. In cases when actual data is not available for all relevant historical periods, S&P DJI may employ a process of using "Backward Data Assumption" (or pulling back) of ESG data for the calculation of back-tested historical performance. "Backward Data Assumption" is a process that applies the earliest actual live data point available for an index constituent company to all prior historical instances in the index performance. For example, Backward Data Assumption inherently assumes that companies currently not involved in a specific business activity (also known as "product involvement") were never involved historically and similarly also assumes that companies currently involved in a specific business activity were involved historically too. The Backward Data Assumption allows the hypothetical back-test to be extended over more historical years than would be feasible using only actual data. For more information on "Backward Data Assumption" please refer to the [FAQ](#). The methodology and factsheets of any index that employs backward assumption in the back-tested history will explicitly state so. The methodology will include an Appendix with a table setting forth the specific data points and relevant time period for which backward projected data was used.

Index returns shown do not represent the results of actual trading of investable assets/securities. S&P Dow Jones Indices maintains the index and calculates the index levels and performance shown or discussed but does not manage actual assets. Index returns do not reflect payment of any sales charges or fees an investor may pay to purchase the securities underlying the Index or investment funds that are intended to track the performance of the Index. The imposition of these fees and charges would cause actual and back-tested performance of the securities/fund to be lower than the Index performance shown. As a simple example, if an index returned 10% on a US \$100,000 investment for a 12-month period (or US \$10,000) and an actual asset-based fee of 1.5% was imposed at the end of the period on the investment plus accrued interest (or US \$1,650), the net return would be 8.35% (or US \$8,350) for the year. Over a three-year period, an annual 1.5% fee taken at year end with an assumed 10% return per year would result in a cumulative gross return of 33.10%, a total fee of US \$5,375, and a cumulative net return of 27.2% (or US \$27,200).